

# 教団新報

定 価 1 部 140 円 ( 本 体 133 円 千 共 200 円 )  
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,000 円  
紙 代 の み 3,500 円  
振 替 00140-9-145275  
本 紙 を 購 読 希 望 の 方 は 、 前 金 を  
そ へ て 、 お 近 く の キ リ ス ト 教 書 店  
へ お 申 し 込 み 下 さ い 。  
教 会 の 購 読 料 は 負 担 金 に 含 み ま す 。

発 行 所 日 本 基 督 教 団  
169-0051 東 京 都 新 宿 区 西 早 稲 田 2-3-18  
日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 03(3202)0546  
FAX 03(3207)3918  
E-mail:shimpoh-c@uccj.org  
発 行 人 竹 前 昇  
編 集 主 筆 竹 澤 知 代 志  
印 刷 所 株 式 会 社 き か ん し

## 教区総会報告 ②

兵庫・西中国・東中国・東北・中部



松江イエスキリスト教会の皆さん

第五十四回西中国教区定期総会が、五月十日～十一日、山口市の防長苑を会場に開催された。開会時、正議員一三六名中一九名の出席で総会は成立した。

第二日目は、開会礼拝、組織会、教区議長総括報告に続き、関東教区問安使平山正道氏、教団問安使小林眞教団副議長から挨拶を受け質疑応答。

その後、三名の准允式と

### 基地問題特別委員会を設置

西中国

第五十四回西中国教区定期総会が、五月十日～十一日、山口市の防長苑を会場に開催された。議長に高橋敏通氏（下松）、副議長に柴田もゆる氏（廿日市）が再選され、書記には東島勇人氏（益田）が選任された。

夜には第34回教団総会報告の時間を持ち、総会出席の四議員から報告を受けて協議。

この際、教団問安使より教区の報告に歪曲があるか

のような発言があったため、これに抗議がなされ、議事終了後も場所を移して議論が続けられた。

第二日目は逝去教師・信徒記念式に始まり、兵庫教区問安使佃真人氏、教区内来訪者より挨拶を受けた。

その後、由宇伝道所廃止、府中教会・神辺伝道所合併、松江イエスキリスト教会の教団加入（常議員会承認後の名称は松江古志原教会）

を承認。教団加入の件では、同教会の教師・教会員九名が約四時間の道程を経て総会に出席され、一同で喜びを分かち合った。

議員提案であった「合同のとなえなおしと実質化」推進のため、教区内教会・伝道所が取り組みを進める件」は、議案中の「推進の態度決定を目標」という文言の受けとめを巡って議論となった。各教会・伝道

所にとさらに積極的に課題の共有を呼びかけていきたいとの意見、趣旨には賛同するが教区主導ではなく各教会・伝道所が主体的に決断し取り組みべきことであるとの意見等が交わされ、採決の結果少数否決となった。

その後、同じく議員提案であった「辺野古の米軍新基地建設の白紙撤回およびボーリング調査を中止させるために具体的に取り組み件」、「あらゆる米軍基地機能の強化に反対し、米軍基地撤廃の取り組みを推進する件」を審議の後に賛成多

数で可決。新たに「基地問題特別委員会」が設置されることとなり、「合同のとなえなおし」で問われていることへの取り組みを教区として推進する結果となった。

この他建議案三件については常置委員会に付託された。

常置委員

【教職】古賀博（山口信愛）、久保田十一郎（広島船越）、鈴木恭子（下関西）

【信徒】西澤宏（広島牛田）、浦部頼子（小郡）、島敏史（宇部緑橋）

（東島勇人報）

との意見が出され、二日目まで議論を継続した。その議論を経た上で同議案を承認し、准允・按手式（准允・六名、按手・三名）を執行了た。

（車田誠治報）

▼「ゆこう、どこかにあるはずだも」とよくに、よくくしー！「ひとりのたいこたたきがこのように叫び、歩き出したことからはじまった行進は、新しい町に入り、新しい土地を過ぎる度に人数が膨れ上がり、やがて。▼チムニクの絵本（福音館）を二〇数年ぶりに読み返した。絵本だから紙数は多くない。話の粗筋は憶えていたつもりだが、初めて読むように新鮮だ。それどころか随分と印象が違ふ。昔は主題を読み誤っていたのかも知れない。▼優れた童話には、多様な解釈の余地がある。読者の年齢や置かれた環境で色合いを変える。だからこそ、何度でも読み返すことが可能だ。著者の意図が読者の誤解を許さない程に表に出ていゝものは、必ずしも優れた作品とは言えない。豊かな作品は多様な解釈を豊かに生み出す。その分誤解も。▼「罪と罰」が日本に紹介された時は推理小説の扱いだったといふことをどこかで読んだ。『復活』はメロドラマだ。これは解釈の多様か、曲解か。▼どこかたいこの音がする。『ゆこう、どこかに』

### 災害関連の二議案を可決

兵庫

第五十九回「合同」後三六回兵庫教区総会では五月二二・二三両日、テーマを「支えあう教会」福音を生きるいのちのつながりをとし、阪神大震災後十年を経て再建された神戸栄光教会を会場に正議員二二名中一一五九名が出席する中、堂山興治志筑教会牧師の開会礼拝説教を以って開催された。

来賓として権寧國在日大韓基督教西部地方会会長、

宮田登夫部落解放センター運営委員会常任委員、三浦修関東教区議長、鈴木伸治教団書記から挨拶を受けた。特に教団問安使に対して質疑が行われ、沖縄教区総会選出議員不在で行われた第34回教団総会に対して教団議長が行った措置、対応に対する疑義、教区総会提出議案の「不受理」に対する抗議が議場から多数出された。

他に教団総会関連として

は「第34回教団総会報告に関する件」（八号）において議長から総会の様子が報告されると共に、教団総会議員以外の人からの質問に教区選出議員が答える形で現在の教団が抱える課題を分かち合い、報告が承認された。

教団総会での議論を受け出された議案としては「合同のとなえなおし」に関する件（十号）が審議され「福音を生き、神による平

和をつくりだす営みのため」に「合同のとなえなおし」に関する兵庫教区決意表明と「可決した。

阪神淡路大震災から十年を経て十一年目を迎える兵庫教区として新潟中越地震被災教区である関東教区から教区議長を迎え、議場の外ではパネル展示等行われ中、「災害に向かい合う」宣教を担う兵庫教区の決意表明に関する件」（十一号）と「日本基督教団内に自然

和をつくりだす営みのため」に「合同のとなえなおし」に関する兵庫教区決意表明と「可決した。

「クリスチャンセンター会計不正流用問題報告に関する件」（七号）は一日目の始めから上程され二日目の午後まで議論した後、承認された。

建議としては「子ども記念公園」及び「記録館（仮称）建設に関する件」（建

議一号）が常置委員会に付託され、「いのちを脅かすものへの恐れを表明し、いのちを脅かすもの前になんとか踏みとどまり可能で必要な働きに取り組み決意表明（建議二号）に関する件が議場で可決された。

また「准允・按手式執行に関する件」（六号）は、教

師検定試験の現状についての理解に関して「補教師の聖礼典執行に関しては、諸教会の現実的実態に即し、また兵庫教区第二五回総会以降の歴史的経過を踏まえつつ、その教会の決定を尊重する」とのいわゆる「第九号議案」を決議した教区として対応が不十分である

のたいこたたきがこのように叫び、歩き出したことからはじまった行進は、新しい町に入り、新しい土地を過ぎる度に人数が膨れ上がり、やがて。▼チムニクの絵本（福音館）を二〇数年ぶりに読み返した。絵本だから紙数は多くない。話の粗筋は憶えていたつもりだが、初めて読むように新鮮だ。それどころか随分と印象が違ふ。昔は主題を読み誤っていたのかも知れない。▼優れた童話には、多様な解釈の余地がある。読者の年齢や置かれた環境で色合いを変える。だからこそ、何度でも読み返すことが可能だ。著者の意図が読者の誤解を許さない程に表に出ていゝものは、必ずしも優れた作品とは言えない。豊かな作品は多様な解釈を豊かに生み出す。その分誤解も。▼「罪と罰」が日本に紹介された時は推理小説の扱いだったといふことをどこかで読んだ。『復活』はメロドラマだ。これは解釈の多様か、曲解か。▼どこかたいこの音がする。『ゆこう、どこかに』



のたいこたたきがこのように叫び、歩き出したことからはじまった行進は、新しい町に入り、新しい土地を過ぎる度に人数が膨れ上がり、やがて。▼チムニクの絵本（福音館）を二〇数年ぶりに読み返した。絵本だから紙数は多くない。話の粗筋は憶えていたつもりだが、初めて読むように新鮮だ。それどころか随分と印象が違ふ。昔は主題を読み誤っていたのかも知れない。▼優れた童話には、多様な解釈の余地がある。読者の年齢や置かれた環境で色合いを変える。だからこそ、何度でも読み返すことが可能だ。著者の意図が読者の誤解を許さない程に表に出ていゝものは、必ずしも優れた作品とは言えない。豊かな作品は多様な解釈を豊かに生み出す。その分誤解も。▼「罪と罰」が日本に紹介された時は推理小説の扱いだったといふことをどこかで読んだ。『復活』はメロドラマだ。これは解釈の多様か、曲解か。▼どこかたいこの音がする。『ゆこう、どこかに』

逝去者記念礼拝。今年は手話通訳も入れて





# 顔の見える教区目指して 東中国

東中国教区第五四回定期総会は五月二二、二四の両日、岡山教会を会場にして、正議長九人、開会時で七九人が出席し、開催された。宇野稔教区総会議長は、報告の中で「教区宣教基本方針」に触れ「教区内の四八の教会・伝道所が各々違いを持っているのは良いのですが、それを無関係に放置しておくのではなく、お互い出会い、対話する」「顔の見える教区」となるための対話の重要性を訴えた。

今総会では教区三役及び、常置委員選挙が行われた。副議長の急逝、予備選挙で立てられた候補が諸処の事情で辞意を表明する中、再投票、決選投票を経て、宇野氏（岡山）が再選された。宇野氏が「辞意を表明している以上、このままでは受けられない」と、教会役員と協議をするため、一時議事が中断される一幕もあった。

副議長には藤原寛人氏（上井）が選出され、書記には卜部康之氏（倉敷水島）が任じられた。

一日目の夕食時に「交流の時」が持たれ、新任・転任教師が紹介された。

また、三浦修氏（関東教区議長）、塚本潤一氏（なか



左から藤原寛人副議長・宇野稔議長・卜部康之書記

ら新潟中越地震の被害や教会の動き、現在の状況などが、スライドショウで紹介された。

その後、教区内の四名の教師から「二〇〇四年度を振り返って」と題して発題

と交流の時間が取られた。今回の総会で大きな課題とされていたのは「平和」と「護憲」であり、それに関する議案「教育基本法を改悪しないように国に求める件」「自衛隊をイラクから撤退させるよう」国に求める件「憲法改正」に反対する件」などに多くの時間が割かれ、提案理由に對して動議が出された上で可決されるなど、活発な議論がなされた。

その他にも「旧植民地下のハンセン病療養所入所者に対する補償問題」「性差別をなくすための取り組みをする件」などが取り上げられ、いずれも可決された。

また、「日本基督教団に對して、教団内で起こったセクシュアル・ハラスメントの加害牧師に對して戒規を適用する件」等二件の緊急議案が常置委員会付託で可決された。

議場からは「社会派的な議案だけが出されていることについての疑問を感じ」「教会の信徒の思いと乖離しているのではないか」「教区で伝道が語られないのは何故か」との意見も出

た。

第五五回中部教区総会が、五月一七日、一八日、名古屋中央教会を会場に開催された。開会礼拝の後、正議員二〇二名中一八八名の出席で総会は成立し、仮執行順序が承認され、議事に入った。

一日目の主な議事は、常置委員会報告、各部各委員報告、教区三役選挙、常置委員選挙であった。

特に常置委員会報告の中で、『靖国・天皇制』問題

と「祈りのカレンダー」の製作状況報告がなされた。教区歳入歳出決算では、機構改革過渡期による科目等の混乱が指摘され、また教区活動連帯資金と教区活動連帯配分資金の未収金の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

に新しい地区形成に取り組む姿勢が語られた。関連して前年度から十年を自途とする長期宣教基本方針が策定され、その中に単年度計画が位置づけられるようになった。二年目は前年度の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

に新しい地区形成に取り組む姿勢が語られた。関連して前年度から十年を自途とする長期宣教基本方針が策定され、その中に単年度計画が位置づけられるようになった。二年目は前年度の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

また、「日本基督教団に對して、教団内で起こったセクシュアル・ハラスメントの加害牧師に對して戒規を適用する件」等二件の緊急議案が常置委員会付託で可決された。

議場からは「社会派的な議案だけが出されていることについての疑問を感じ」「教会の信徒の思いと乖離しているのではないか」「教区で伝道が語られないのは何故か」との意見も出

た。

第五五回中部教区総会が、五月一七日、一八日、名古屋中央教会を会場に開催された。開会礼拝の後、正議員二〇二名中一八八名の出席で総会は成立し、仮執行順序が承認され、議事に入った。

一日目の主な議事は、常置委員会報告、各部各委員報告、教区三役選挙、常置委員選挙であった。

特に常置委員会報告の中で、『靖国・天皇制』問題

と「祈りのカレンダー」の製作状況報告がなされた。教区歳入歳出決算では、機構改革過渡期による科目等の混乱が指摘され、また教区活動連帯資金と教区活動連帯配分資金の未収金の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

に新しい地区形成に取り組む姿勢が語られた。関連して前年度から十年を自途とする長期宣教基本方針が策定され、その中に単年度計画が位置づけられるようになった。二年目は前年度の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

に新しい地区形成に取り組む姿勢が語られた。関連して前年度から十年を自途とする長期宣教基本方針が策定され、その中に単年度計画が位置づけられるようになった。二年目は前年度の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

に新しい地区形成に取り組む姿勢が語られた。関連して前年度から十年を自途とする長期宣教基本方針が策定され、その中に単年度計画が位置づけられるようになった。二年目は前年度の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

## 再建伝道 支援を五年延長

中部

円（二〇〇三年度教区内諸教会・伝道所経常収入総計の〇・五％）を教区内諸教会・伝道所よりの謝恩日献金として捧げる議案が、常置委員会より出された。活発な議論が交わされたが、原案どおり可決された。

選挙結果は以下の通り。

【議長】楠本史郎（若草）、【副議長】高橋潤（中京）【書記】加藤幹夫（阿漕）

常置委員

【教職】武田真治（金城）、横山良樹（平田）、小宮山剛（富山二番町）、井ノ川勝（山田）、渡部和使（名古屋北）、須藤茂明（華陽）、釜士達雄（七尾）、滝口洋子（鈴鹿）

【信徒】大杉弘（若草）、篠田優（熱田）、川原潤羽（津）、阿部美男（名古屋北）、中村友之（各務原）（加藤幹夫報）



教団問安使との活発な質疑応答

第六〇回東北教区総会は五月二四、二五日、仙台青葉教会、東北教区センター「エマオ」を会場に開催された。開会時、出席正議長は一七七名中一二四名。開会礼拝・聖餐式後、一名の按手礼式、四名の准允式が執行された。続いて教区センター館長就任式が行われ、工藤正剛氏を専任館長として迎えた。

教区四役選挙が行われ、福島純雄議長（郡山）が再

選、副議長には高橋和氏（仙台東六番丁）を選出、正副議長の推薦により宮崎新氏（福島伊達）を書記に選任した。また宣教部委員長は小西望氏（仙台北）が選出された。

前総会決議により機構改革が行われ、地区再編と宣教共働会計設立による地区主体の教会互助体制となつて一年を経過した。新地区編成による地区報告が順次なされ、困難な中で意欲的

に新しい地区形成に取り組む姿勢が語られた。関連して前年度から十年を自途とする長期宣教基本方針が策定され、その中に単年度計画が位置づけられるようになった。二年目は前年度の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

に新しい地区形成に取り組む姿勢が語られた。関連して前年度から十年を自途とする長期宣教基本方針が策定され、その中に単年度計画が位置づけられるようになった。二年目は前年度の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

に新しい地区形成に取り組む姿勢が語られた。関連して前年度から十年を自途とする長期宣教基本方針が策定され、その中に単年度計画が位置づけられるようになった。二年目は前年度の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

に新しい地区形成に取り組む姿勢が語られた。関連して前年度から十年を自途とする長期宣教基本方針が策定され、その中に単年度計画が位置づけられるようになった。二年目は前年度の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

に新しい地区形成に取り組む姿勢が語られた。関連して前年度から十年を自途とする長期宣教基本方針が策定され、その中に単年度計画が位置づけられるようになった。二年目は前年度の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」

に新しい地区形成に取り組む姿勢が語られた。関連して前年度から十年を自途とする長期宣教基本方針が策定され、その中に単年度計画が位置づけられるようになった。二年目は前年度の反省を活かし、それぞれの活動内容を充実深化させ、教区・地区の共同体性と連帯性を深めると共に各教会の宣教力を高めることを目指す。その中で共有すべき、東北教区ハンドブック」



按手礼式



# 〇六年度予算立案基本方針協議

## 第二回 予算決算委員会

第34総会期第二回予算決算委員会、挨拶を兼ねて算委員会は五月九日・十日の両日教団会議室で開催された。

飯塚拓也委員長より議事日程が諮られた後、竹前昇

総幹事より、挨拶を兼ねて二〇〇四年度決算の概要報告があった。

続いて計良祐時財務担当

幹事より同決算について詳細な報告があり、一同は長



予算決算委員会。2006 年度予算立案に取り組む

時間の協議を行ない、収支科目全般について確認し、決算案を承認し、次回常議員会に諮る事となった。

出版局繰入金と運営資金繰入が削減し、収支差額三八〇万円の剰余金を生む黒字決算となったのは、教団財政としては大きな前進で

## 信仰的・財政的基盤整備が必要

### 宣教師派遣式

四月七日教団会議室において秋葉・クレマー・睦子氏の宣教師派遣式が大宮連世界宣教師協力委員会委員長の司式、木下宣世同委員書記の説教により執り行われた。

秋葉氏はベルリン日本語教会(ドイツ)に四月一日

付けて派遣され、一時帰国中に派遣式が持たれた。ベルリン日本語教会は、昨年三月末に相賀昇宣教師が退任し、その後秋葉氏が集教会書記の説教により執り行われた。

派遣式では木下書記が「恐れるな。語り続けよ。黙っているな。わたしがあ

の検討を行なった。ペイオフ対策については現状の教団本会計の金融機関の選定、金銭管理について確認する必要と、ペイオフ対策のルール作成について検討を行なった。

二〇〇六年度の予算を立案するにあたっては、従来のように支出から検討するのはなく、収入総額から予算規模を検討することし、収入の基礎である教区負担金について検討し、二

〇〇五年度と同額の場合、および1%減の場合について予算を考へることとし、予算を立てる手順について種々協議を行なった。

次に予算管理について検討し、予算編成内容の把握、管理の担当部門、予算決算委員会としての管理、補正予算の提案時期等について協議を行なった。

おわりに監査基準について、計良財務担当幹事より、「日本基督教団会計監査基準」について説明があり一同の理解を深めた。

(池田浩二報)



大沼田實氏(隠退牧師)

由布院	辞(代)岡口文明	辞(担)吉田道江
北九州復興就担湯浅佳成	就主川崎一路	就主瀧 栄子
福岡渡辺通	辞(代)牧村元太郎	名古屋新生辞(主)眞山光彌
"	就主西岡 巖	辞(主)竹島 敏
東海田	辞(担)岩高 澄	就(主)坂元 高
水海道	辞(主)三矢 亮	就(主)竹島 敏
呉山手	辞(主)佐藤孝義	就(主)保科 隆
"	就主三矢 亮	就(主)瀨谷 寛
諫早	辞(主)中村 暉	辞(主)清田勝成
"	辞(兼担)鐵口宗久	就(主)戸井雄二
宇治	辞(兼担)山城 順	就(主)清田勝成
"	就主内山 宏	就(主)内藤智基
新庄本町	辞(主)溝部 昂	就(主)内藤智基
"	辞(担)溝部為子	就(主)小林誠治
"	就(代)多勢 眞	就(主)宗野鏡子
会津高田	辞(主)渡辺利彦	就(主)宗野鏡子
"	就(代)石田龍三	就(主)宗野鏡子
磐城	就主佐藤吉春	就(代)宗像亮二
"	就主渡辺利彦	就(主)高妻りつ子
指宿	就主柳本秀良	就(主)松谷眞理
岡崎	就主堤 健生	就(主)三吉小祈
"	就主柳本秀良	就(主)伊藤嘉朗
大阪福島辞(主)広瀬規代志	就主堤 健生	就(主)三吉小祈
"	就主堤 健生	就(主)伊藤嘉朗
室町	就主樋口 進	就(主)伊藤嘉朗
"	就(主)広瀬規代志	就(主)定家修身
泉北梅	就主嶺重 知	就(主)定家修身
西宮一麦	就主森 彬	就(主)藤崎義宣
"	就(担)森 佐久子	就(主)川崎献一
睦野	就(代)森 彬	就(代)山口 収
堅田	就主川端 論	就(主)山口 収
"	就(担)竹内 宙	就(主)山口 収
安土	就主竹内 宙	就(主)山口 収
"	就主平野 正	就(主)山口 収
"	就(担)奥村直彦	就(主)山口 収
"	就主奥村直彦	就(主)山口 収
ユーカリが丘	就主奥村直彦	就(主)山口 収
"	就(担)植西光雄	就(主)山口 収
金城	就(担)植西光雄	就(主)山口 収
"	就(担)塚本洋子	就(主)山口 収
登美丘	就主安村喜行	就(主)山口 収
"	就(代)井上良作	就(主)山口 収
茅ヶ崎恵泉辞(主)大門義和	就(担)八木かおり	就(主)山口 収
高石	就(代)森田喜之	就(主)山口 収
"	就主大門義和	就(主)山口 収

## 北海 教会が立ち続けるために 久世そらち

どこの教区でもそうだろうが、とりわけ北海教区においては北海道という地域の社会的・歴史的條件が宣教の働きに大きな影響を及ぼしていることを痛感している。

明治以来、内国植民地として位置づけられてきたこの豊かな広い島は、水産・鉱物・石炭・木材・農産物など時代ごとに必要とされる資源と市場を日本に提供し、そしてそれらが不要とされると捨てられる歴史を繰り返し、また日本

## 教区 コラム

の抱えるさまざまな矛盾の処理場としても利用され続けてきた。現在では活動休止しているある教会は、炭鉱の町に建てられた。かの信徒の「町が栄えた時には牧師つての繁華街は、今、ぼろぼろの草地向化して。石炭が必要なき必要なき教会は去り、自分たちは置いといていかれた」と、憤りに近いつぶやきを聞いたことがある。

伝道を始めるとも難しいのは、画館も居酒屋も床屋も医者も来て、「去らない」ことかもしれない。北海道の地で「でも教会は自分たちを捨てない」という信頼を得るまで教会が立ち続けることのために、北海教区の努力はある。

(北海教区総会副議長)



ベルリン日本語教会に秋葉宣教師派遣

た委員より案の説明があり、一同で協議を行なった。C表の数値は教区負担金算定の基礎であり、教区負担金算定が公平性を欠くことのないよう協議を行ない、さらに継続して検討することになった。

おわりに監査基準について、計良財務担当幹事より、「日本基督教団会計監査基準」について説明があり一同の理解を深めた。

(池田浩二報)

## 事務局報

大阪西野田辞(主)中島 聡	就主井上 理	就主井上 理
"	就主井上 理	就主井上 理
如鷲	就主中島 聡	就主中島 聡
"	就(担)塚本洋子	就(主)安村喜行
金城	就主安村喜行	就(代)井上良作
登美丘	就(代)井上良作	就(主)大門義和
"	就(代)森田喜之	就主大門義和
茅ヶ崎恵泉辞(主)大門義和	就(担)八木かおり	就(主)山口 収
高石	就(代)森田喜之	就(主)山口 収
"	就主大門義和	就(主)山口 収



10